

かぞくのひけつ (2006)

メディア 映画
ジャンル コメディ ドラマ 青春
製作国 日本
色彩 Color
時間 83分
初公開日 2007/12/22
公開情報 シマフィルム＝第七藝術劇場＝スローラーナー

【キャッチコピー】
なんで男と女は一緒になろうとすんねやろ？

【解説】
大阪十三を舞台に、思春期真っ只中の男子高校生が両親の不和や恋人との関係で悩み多き日々を送る姿をユーモラスに綴る人情喜劇。主演は「ごめん」の久野雅弘。監督は、本作で第47回日本映画監督協会新人賞に輝いた小林聖太郎。
大阪、十三の商店街。オンナ癖の悪い父と、嫉妬深い母を持つ高校生の賢治には半年付き合っている彼女、桜井典子がいたが、未だ手もつなげずにいた。なぜなら、童貞にもかかわらず性病に罹ったと思い込み、ひとり悶々と悩んでいたのだった。そうとは知らない典子は、消極的な賢治にイライラを募らせていく。そんなある日、賢治は母から父の監視を頼まれる。案の定、若くて綺麗な女性と一緒に現場を目撃することに。その後、父と別れたその女性、ゆかりの後をつけた賢治だったが、ストーカーと誤解されてしまう。仕方なく素性を明かし、父と別れてほしいと懇願する。ところが翌日、両親が営む不動産屋のアルバイト募集に応募してきたのは、なんと愛人のゆかり、その人だった。

【クレジット】

監督	小林聖太郎	
製作	志摩敏樹	
企画	志摩敏樹	
プロデューサー	中村有孝	
アソシエイトプロデューサー	富岡邦彦	
脚本	小林聖太郎 吉川菜美	
撮影	近藤龍人	
美術	宇山隆之	
編集	鈴木真一 小林由加子	
音楽	Flat Three	
録音	石寺健一	
出演	久野雅弘	島村賢治
	秋野暢子	島村京子
	桂雀々	島村宏治
	ちすん	大澤ゆかり
	谷村美月	桜井典子
	テント	謎の薬屋・天道
	九十九一	婦人服屋・福田

長原成樹	クリーニング屋・荒井
平野麻樹子	落合マキ
友田安紀	大久保ミキ
南方英二	一軒家の家主・近藤
荒谷清水	寄合いの司会
水木薫	典子の母・初枝
浜村淳	市原医院・医師